

テーマ3 5は2の何乗か？〔 $2^x = 5$ となる x を求めよう〕

この x を $x = \log_2 5$ と書き、2を底とする5の対数と呼びます。対数を考えたのはイギリス人のネイピアで、彼のおかげでは『金貸し』と『天文学者』の寿命が10年以上長くなったと言われています。

【方法1】 2と5を、2乗、3乗、...と並べて、近い数を見つける。

2	4	8	16	32	64	<u>128</u>	256	512	1024
2048	4096	8192	16384	32768	65536	131072	262144	524288	1048576
5	25	<u>125</u>	625	3125	15625	78125	390625	1953125	9765625

128と125について、およそ $2^7 = 5^3$ と考えるられる。

また、 $2^x = 5$ より、 $2^{3x} = 5^3$ 。

よって、 $3x = 7$ 、 $x = \frac{7}{3}$ つまり、 $2^{\frac{7}{3}} = 5$ のように表せる。

ネイピア達はもっと計算をして、 $2^{339} = 5^{146}$ を見つけ、 $x = \frac{339}{146} (= 2.322)$ を導き出したかもしれません？（これは勝野の勝手な想像です）

【方法2】 勝野の方法（実は、 $x = \frac{339}{146}$ はこの方法で見つけたのです。）

ユークリッドの互除法覚えていますか？ あんな感じで電卓で互除法をします。勝手に“カツノの互除法”などと呼んでいます。その仕組みはあとで説明します。しっかりマスターしてください。

$\boxed{2} \boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{5} \boxed{=} \boxed{=}$ (1.25 : 2より小さい値になるまで $\boxed{=}$ を押す)

$\boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{2} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=}$ (1.024 : 1.25より小さい値になるまで $\boxed{=}$ を押す)

$\boxed{\div} \boxed{\div} 1.25 \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=}$ (1.0097416 : 1.024より小)

$\boxed{\div} \boxed{\div} 1.024 \boxed{=} \boxed{=}$ (1.0043369 : 1.0097416より小)

$\boxed{\div} \boxed{\div} 1.0097416 \boxed{=} \boxed{=}$ (1.0010398 : 1.0097416より小)

と計算を続け、 $\boxed{=}$ の個数に注目すると、

$$x = \log_2 5 = 2 + \frac{1}{3 + \frac{1}{9 + \frac{1}{2 + \frac{1}{2 \dots}}}}$$

と表せます。

ここで，正則連分数を表す方法を利用して， $x = \log_2 5 = [2, 3, 9, 2, 2, \dots]$.

また， $\log_2 5 = [2, 3, 9, 2, 2]$ とすれば，

$$\log_2 5 = 2 + \frac{1}{3 + \frac{1}{9 + \frac{1}{2 + \frac{1}{2}}}} = \frac{339}{146} .$$

この $\log_2 5 = \frac{339}{146}$ を近似分数といいます .

【練習問題】 次の対数を電卓で計算し，正則連分数で表し，近似分数を求めよう .

$\log_2 10$ ($2^x = 10$ となる x)

$$\boxed{2} \boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{\square} \boxed{\square} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} ,$$

$$\boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{\square} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} , \dots$$

$$\log_2 10 = [3, 3, \quad , \quad , \dots] \quad \text{—}$$

$\log_3 10$ ($3^x = 10$ となる x)

$$\boxed{2} \boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{\square} \boxed{\square} \boxed{=} \boxed{=} ,$$

$$\boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{\square} \boxed{=} \boxed{=} \boxed{=} \dots , \dots$$

$$\log_3 10 = [2, 10, 2, 2, 1, \dots] \quad \text{—}$$

$\log_4 15$ ($4^x = 15$ となる x)

$$\boxed{2} \boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{\square} \boxed{\square} \boxed{=} ,$$

$$\boxed{\div} \boxed{\div} \boxed{\square} \boxed{=} , \dots$$

$$\log_4 15 = [1, 1, 20, 2, 12, \dots] \quad \text{—}$$

【練習問題の答】 $\log_2 10 = [3, 3, 9, 2, 2, \dots]$ $\frac{485}{148}$

$\log_3 10 = [2, 10, 2, 2, 1, \dots]$ $\frac{153}{73}$

$\log_4 15 = [1, 1, 20, 2, 12, \dots]$ $\frac{1049}{537}$

“カツノの互除法”を使って対数を求める... 計算は面倒ですが、面白いと思いませんか？ 続いて，“カツノの互除法”が何故成立つのかについての説明です。

《 $\log_2 5$ の計算の電卓図》を式に対応させて考えます。

$2 \mid \div \mid \div \mid 5 \mid = \mid = \mid (1.25)$	$5 = 2^2 P \dots$	$(P = 1.25)$
$\div \mid \div \mid 2 \mid = \mid = \mid = \mid (1.024)$	$2 = P^3 Q \dots$	$(Q = 1.024)$
$\div \mid \div \mid 1.25 \mid = \mid = \mid \dots \mid = \mid = \mid (1.0097416)$	$P = Q^9 R \dots$	$(R = 1.0097416)$
$\div \mid \div \mid 1.024 \mid = \mid = \mid (1.0043369)$	$Q = R^2 S \dots$	$(S = 1.0043369)$
$\div \mid \div \mid 1.0097416 \mid = \mid = \mid (1.0010398)$	$R = S^2 T \dots$	$(T = 1.0010398)$

ここで， から へと式の変型をします。

まず， より $R = S^2 T$ を（この場合だけ） $R = S^2$ として考える。

$R = S^2$ より， $S = R^{\frac{1}{2}}$

よって， より $Q = R^2 R^{\frac{1}{2}} = R^{2+\frac{1}{2}}$ ， $R = Q^{\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}$ 。

同様に， より $P = Q^9 Q^{\frac{1}{2+\frac{1}{2}}} = Q^{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}$ ， $Q = P^{\frac{1}{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}}$ 。

さらに， より $2 = P^3 P^{\frac{1}{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}} = P^{3+\frac{1}{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}}$ ， $P = 2^{\frac{1}{3+\frac{1}{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}}}$ となって，

最後に， より $5 = 2^2 2^{\frac{1}{3+\frac{1}{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}}} = 2^{2+\frac{1}{3+\frac{1}{9+\frac{1}{2+\frac{1}{2}}}}}$ 。

これで， $\log_2 5 = [2, 3, 9, 2, 2, \dots]$ の説明は完了しました！

